

# Together

経営に関する難題解決の

事例や手法、働く人々の思いや業界最新情報を共有する月刊紙



株式会社 KBS 創研  
KBS Tourism Enterprise, Inc  
2017.11 No.157

知識 [Knowledge] と行動 [Behavior] で問題解決 [Solution] を支援

KBSは「HANDS ON型」で、観光・サービス業界を支援します。http://www.kbsbiz.com E-Mail : info@kbsbiz.com

ハイサイ! 小泉やいびん。沖縄県の11月の平均気温は22度前後になります。海水浴はさすがに厳しいですが日中少し汗ばむくらいの過ごしやすい時期になります。5日には琉球王朝時代を彷彿させる琉球王朝絵巻行列が那覇市のメインストリートである国際通りで行われました。世界遺産首里城で行われる首里城祭の大事なイベントのひとつで、琉球王国の華やかな光景が再現されました。秋の沖縄も見どころ、イベント満載です。めんそーれ、沖縄へ!

代表取締役 小泉壽宏



## KBSの沖縄事業・新旅行流通事業

### 沖縄特化型ランドオペレーター【Amazing OKINAWA】活動報告

京都のランドオペレーターであるビーンズ株式会社と共同で今春より事業を展開している【Amazing OKINAWA】ですが、この秋はビックイベントに挑戦しました。9月には世界最大規模の国際観光イベントであるVISIT JAPAN トラベル& MICE マートへ出展し、欧米を中心とした約30社のバイヤーに沖縄の魅力を発信し販売ネットワークを構築する足がかりを作りました。また10月には九電産業株式会社とともにロシア最大の経済団体であるオーポラロシア幹部の沖縄訪問を実現させるとともに、健康と癒しのまちとして注目される沖縄本島東海岸のまち金武町との交流協定締結のコーディネート役を果たしました。

これら2つの大型イベントの成功に欠かせなかったのが沖縄で培ったネットワークです。人的なつながりの強い沖縄だけにそのパワーには感動しました。これからも【Amazing OKINAWA】は沖縄の皆さんとともに歩んでまいります。

沖縄の魅力を欧米の旅行会社に発信!

### VISIT JAPAN トラベル& MICE マート2017に出展しました!

期間: 2017年9月21日(木)~23日(土) 会場: 東京ビックサイト東7ホール(東新展示場)

■欧米人の日本滞在は「2週間程度」が最も多い。周遊観光の立ち寄り先として提案するべし。

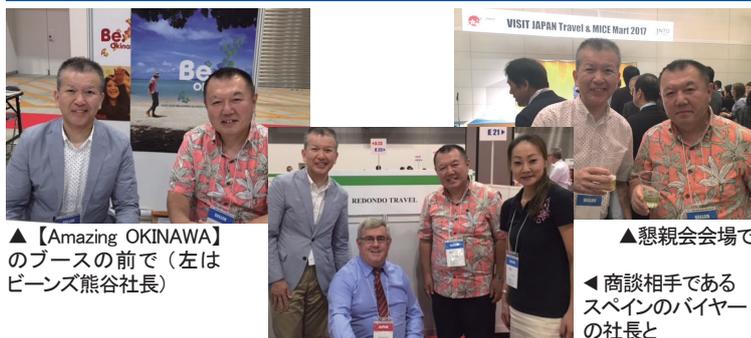
欧米人のバカンスは長いことで知られていますが、訪日旅行においては2週間程度の滞在期間でお客様に提案するというバイヤーが多かったです。それも「富士山」「京都」「高山」「金沢」「広島」等日本のメジャー観光地を3~4日ずつ滞在しながら移動するコースを組むとのことでした。訪日旅行の場合、一カ所に長期滞在するケースはまだ一般的ではないようです。そういえば日本でも1980年

代の海外旅行ブームの時代には、ヨーロッパのような遠方であればロンドン、パリ、ローマ等主要都市を巡るツアーがポピュラーでした。欧米の人にとって訪日旅行は貴重な機会であり、色々なところを訪ねたいというニーズが多いということです。従って自分のまちだけをセールスするのではなく、他のまちと絡めて訴求することが有効ではないかと感じました。

■沖縄への関心は「ビーチ」と「ホテル」

沖縄への関心として「ビーチ」を挙げるバイヤーが多かったです。「日本の海水浴場でクラゲ除けが張り巡らされていると興奮する」といったイタリアのバイヤーの声は印象的でした。「ホテル」については「ビーチ近く」「こじんまりした施設」に欧米の人の人気があるようでした。沖縄の人々と交流できる「民泊」への反応も高かったです。一方琉球文化や琉球料理についてはこちらが期待したほどの関心はないように感じました。これらバイヤーからの情報を踏まえ、【Amazing OKINAWA】では欧米向けのコンテンツ整備・発信を進めてまいります。

~ VISIT JAPAN トラベル& MICE マート2017 のスナップ ~



▲【Amazing OKINAWA】のブースの前で(左はビーンズ熊谷社長)

▲懇親会会場で

◀ 商談相手であるスペインのバイヤーの社長と

# ロシア最大の経済団体「オーポラロシア」沖縄交流訪問団の 沖縄滞在を【Amazing OKINAWA】が一括コーディネート！

2017年10月4日(水)～6日(金)

## ■ロシア最大の経済団体、オーポラロシア。

2002年設立された125業種、約50万社の中小企業が加盟するロシア版経団連ともいえるロシア唯一最大の経済団体です。共産国家崩壊後の民主国家ロシア発足後も、依然としてエネルギー系巨大産業が中心だった経済構造に対して、企業活動の活性化やグローバル化を通じてロシア経済全体の底上げを図るために、プー

チン首相(当時)の肝いりで設立された団体です。ロシア全土に7連邦行政区に連絡調整官を配置し、80の地域に支部を設けている。会長はアレクサンドル・カリーニン氏、オーポラは日本語で“柱”、“基盤”の意をもちます。

## ■健康寿命の延伸が課題のロシア。解決の糸口は沖縄にあり。

ロシアは秋から冬にかけて日照時間が短くなり、特に冬には厳しい寒さに見舞われます。そんな土地柄からバカンスを暖かい海洋リゾートで過ごすことが人気です。一方、平均寿命は男性66歳、女性76歳と日本はもとより欧米先進国と比較して10歳以上低くなっており生産人口の減少が懸念されています。健康寿命の延伸が国家的課題であるといえましょう。沖縄県はかつて我が国一の長寿県で

した。沖縄本来の生活様式や食文化が人々の健康を支えてきました。ロシアの皆さんに暖かい沖縄でそこに息づく生活、食文化を知っていただき体感いただくことがその解決の糸口になるのでは、との発想から九電産業株式会社旅行部(武村誠治部長)とともにこのオーポラロシアの幹部の皆様が沖縄を訪れていただく機会を働きかけました。

## ■「健康と癒しのまち」金武町との交流協定への締結へ。

折角沖縄へお越しいただくのですから、沖縄・ロシアの双方の交流が促進できるような契機になればと考えました。そこで「健康と癒しのまち」として注目されている沖縄本島東海岸のまち金武町で自

然体験ができる「ネイチャーみらい館」(松田健人館長)に相談。松田さんのご支援、金武町役場の皆様のご理解、ご尽力によりオーポラロシアと同町との交流協定の実現に至りました。

## ■沖縄の皆さんのパワーでユニークな滞在シーンを演出！

1日目の昼食でお世話になったロワジールホテル那覇の古賀床係長は琉球民族衣装に身を包み、得意の三線の演奏で一行を出迎えてくださいました。調印後の金武町ではレストラン長楽(豊川あさみ社長)のご当地ならではの食材「田芋」などを使った郷土料理の振る舞い、同町の仲間一町長自らこの日行われていた同町並里区のイベント「十五夜村あすび」にご案内いただき、金武町の魅力に触れていただきました。2日目はKBSがご指導いただいている琉球大学の荒川教授の教え子である東田さんによるフィッシングツ

アー&船上バーベキュー企画の体験、荒川先生自らも宿泊先のザ・リッツカールトン沖縄でのディナーのアレンジされる等沖縄の皆様の献身的なサポートとおもてなしでロシアの皆様にとって日頃体験できない滞在シーンを演出することができ、大変喜んでいただきました。その他にもタイトな予約状況の中ご対応いただいたザ・リッツカールトン沖縄さん、理事長自らご挨拶頂いた沖縄美ら海財団(首里城)さん等多くの皆様のお力添えを頂戴しました。紙面上ではありますが厚く御礼を申し上げます。

## ■金武・沖縄とロシアとの更なる交流促進を目指して。

今後は、金武町の皆様によるロシア訪問や、学術、文化、観光、商工各分野における具体的な交流のシナリオを描いていく必要があります。今後も【Amazing OKINAWA】は沖縄の皆さんと連携を

図りつつ、沖縄の魅力をロシアなどの諸外国、県外に発信するコーディネートとして汗を流してまいります！

### ～オーポラロシア沖縄交流訪問団のスナップ～



▲三線でお迎えのロワジールホテル那覇の古賀さん。(右)



▲金武町での交流協定調印の様子



▲調印の様子を報じる琉球放送(RBC)のニュース



▲交流協定のコーディネートの立役者、ネイチャーみらい館の松田さん(右)と。



▲フィッシングを楽しんだのち釣った魚に舌鼓。船上バーベキューの様子



▲船上アクティビティを見事にプロデュースした荒川門下生の東田さん(右)と。

編集  
後記

世界最大規模の国際観光イベント VISIT JAPAN トラベル & MICE マートへの出展、ロシア最大の経済団体オーポラロシアの幹部沖縄訪問の実現、および金武町との交流協定締結コーディネート。沖縄特化型ランドオペレーター【Amazing OKINAWA】が次々と大型イベントに取り組んでいます。いずれも沖縄らしさを活かしたおもてなしが特長で、2015年5月の沖縄支店開設以来、地元の皆さんと培ってきた人と人のネットワークのたまものでしょう。今後がますます楽しみです。(増田)

## 株式会社 KBS 創研

関西本部：〒661-0003 兵庫県尼崎市富松町3丁目1-5-203 TEL:06-6423-5561/FAX:06-6423-5571

東京本部：〒151-0053 東京都渋谷区代々木2丁目23-1-766 TEL:050-3452-2488

沖縄本部：〒900-0012 沖縄県那覇市泊2丁目1-18 T&C泊ビル4階 TEL:098-917-0117/FAX:098-943-1501

<関連会社>ネクストサポート株式会社(事業再生コンサルティング)

〒541-0043 大阪市中央区高麗橋4-6-20 マスビル6階 TEL:06-6282-7226/FAX:06-4707-3855

●代表取締役：小泉壽宏

●事業内容：観光・サービス業の経営支援

●設立：2004年4月

●地域オフィス：関西・東京・沖縄